

# 一 般 質 問

| 議席番号  | 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 議員氏名 | 津 久 井 大 雄 |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------|
| 項目・要旨 | 1. のびしろポスター広告・健康寿命のポスターについて                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |      |           |
|       | <p>令和7年3月13日埼玉新聞に、ふるさと新聞広告コンテスト優秀賞を受賞した「寄居町にはのびしろしかありません」という題目のポスター広告が2ページにわたり掲載されました。</p> <p>そして同じ時期に、役場内、寄居駅の跨線橋やよりい会館等公共の場に寄居町健康寿命が県内で最下位という題目で、懺悔をしているようなポスターが貼られています。我々議員としても、この多くの課題に対して町と共に打開策を考えていかなければいけないと思います。</p> <p>そこで伺います。</p> <p>(1) のびしろポスター広告・健康寿命のポスターについて町民の方の反応はどうだったのか伺います。</p> <p>(2) 5W1Hを整理することで、問題を把握し、効果的な解決策を見出すことができます。健康長寿について、ポスターから町民に何を伝え、課題解決のために何を行うのか伺います。</p> |      |           |
|       | 2. 役場敷地内E V車充電システムについて                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |      |           |
|       | <p>平成24年にオリックス資源循環株式会社から寄贈していただき、設置していただいた充電器ですが、ここ数年間使われているのを残念ながら見かけておりません。</p> <p>近年の世界経済ではE V車に対して意見も様々ありますが、カーボンニュートラルの時代、近隣市町村では市役所や役場にE V充電器があり、会議や打ち合わせをしている間に充電をして来庁者へのサービスをしている市町村も少なくありません。</p> <p>そこで伺います。</p> <p>(1) 今までの使用頻度、維持費を伺います。</p> <p>(2) 現状の役場内のE V車の保有台数、充電方法について伺います。</p> <p>(3) 今後のE V充電器の増設予定について伺います。</p>                                                              |      |           |
|       | 3. 介護問題について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |      |           |
|       | <p>大里広域市町村圏組合は昭和47年に熊谷市、深谷市と7町村で設立し、ごみ処理や介護保険等を行う現在の枠組みとなり活動していますが、昨今の諸事情により介護保険は令和12年3月に、全てのゴミ処理は令和14年3月に共同事務を終了して正式に解散致します。そこで伺います。</p> <p>(1) 令和12年の解散まで約5年ありますが、今後の人口減少及び高齢者増加など全国的な問題がありますが、寄居町の意気込みを聞かせてください。</p> <p>(2) 解散すると、寄居町の高齢者率が高いため保険料もアップするのも仕方ない</p>                                                                                                                              |      |           |

と思いますが、概算でどれくらい保険料が上がるのか伺います。

(3) 介護は家族に協力してくれる方がいるか、また介護される人の心身の状態によって負担が異なります。家族で要介護者を抱えて職場を辞めたり、休んだりし精神的に追い詰められて、要介護者に対して、虐待をしてしまう事件も新聞上には出ています。要介護者家族に対して町での支援について伺います。

#### 4. よりい防災フェスタについて

広報よりい5月号裏表紙に、よりい防災フェスタが掲載されています。地域防災の強化として、防災イベントを実施すると町長の所信表明にもありました。いつ起こるかわからない災害に備えて、災害時に役立つ日頃の備えを学び、体験を通して防災を学べるイベントになっているようです。車両やドローンの展示、体験コーナーなどを行う内容となっています。

そこで伺います

(1) 防災フェスタの参加人数の目標等があったら教えていただきたい。

(2) ペットへ配慮した避難訓練について、令和6年12月議会で、「室内で飼育されているペットは約9割になる。災害時にペット対策をどのようにするか、避難所運営にも大きな問題と考えなければいけないと思います。」と一般質問で災害時のペットの同行避難について質問させていただきました。今回のイベントと一緒にペットへ配慮した避難訓練について検討されなかったのか伺います。

(3) 寄居町は「ペットに優しい日本一安心安全の街づくり」に向けてペットへ配慮した避難訓練ができと思っています。ですがそのような訓練内容が無くて残念でしかたありません。なぜ実施できないのか理由を伺います。

# 一 般 質 問

| 議席番号  | 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 議員氏名 | 本 間 政 道 |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------|
| 項目・要旨 | 1. 寄居町文化財の保護及び保管等について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |      |         |
|       | <p>寄居町は歴史ある古くからある町であり多くの伝統や文化財を有していると思われます。</p> <p>そして第6次寄居町総合振興計画後期基本計画の基本目標5基本方針（1）基本施策①歴史資源の保護・継承で現状及び課題として「町の宝である文化財を適切に保存・管理し積極的に活用していくことが必要です」としています。</p> <p>また、寄居町文化財保護条例では、「地域内に所在する文化財を保存し、かつ、その活用を図り、もって町民の文化的向上に資するとともに地方文化の進歩に貢献するを目的としている」とされています。</p> <p>文化財には有形文化財、無形文化財、民俗文化財等の様々なものがありますが、寄居町にはどのような文化財があるのか、あまり知られていないと思います。</p> <p>鉢形城跡以外にも多くの文化財があるかと思いますが、文化財を通して町の歴史や文化を多くの町民に知ってもらう事で町に親しみを感じていただけたら良いと思います。</p> <p>そこで伺います。</p> <p>（1）現在、寄居町にはどのような有形文化財、無形文化財、民俗文化財等があるのか伺います。</p> <p>（2）町指定文化財の管理状況についてどの様に行っているのか伺います。</p> <p>（3）有形文化財の保管について伺います。</p> <p>（4）町内の旧建設課の建物に文化財が保管されていると聞いております。その他にも保管場所があるのか伺います。</p> <p>（5）今後、町では有形文化財の保管をどのように進めていく予定なのか考えを伺います。</p> <p>（6）今後、町が考える積極的な文化財の活用とはどのような計画なのか伺います。</p> <p>（7）有形文化財を小中学校において学習でどのように活用されているのか伺います。</p> |      |         |
|       | 2. 中央公民館の活用について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |      |         |
|       | <p>中央公民館の空調設備の大規模改修工事が行われる事になり、今後も中央公民館を修理しながら使用することになるかと思えます。</p> <p>特に町民ホールは町の行事等に使用する事は当然ですが、それ以外に多くの方々に使用していただけたら良いと考えます。</p> <p>町民ホールは午前9時から午後5時までで、36,000円の使用料になるので、町の収入になれば良いと思います。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |      |         |

先日、Y o t t e c oで絵画の個展を開催された方に伺ったのですが、「寄居駅前の施設で交通の便が良いので来客者も多く良かった」と言っておられました。中央公民館も条件は同じかと思います。また、よりいふるさと祭典市に参加されたアイドルグループの関係者からも「寄居町でイベントを開催出来ないか」との声も聞きました。

町からの積極的な広報を行う事も重要ですし、現在では興味がある事であれば情報がすぐに多くの方に伝わります。

このようなことから、アイドルイベントだけでなく、いろいろなイベントに利用してもらえるようになれば良いと考えます。そこで伺います。

- (1) 1年間に町の行事以外に町民ホール利用状況(回数・人数・使用料)がどれくらいあるのか伺います。
- (2) 中央公民館のホームページに、使用料等についての案内がすぐに検索できません。利用者がわかりやすいように使用料等について掲載することはできないのか伺います。
- (3) 町民ホールの年間稼働目標などがあるのか伺います。
- (4) 中央公民館の1年間の維持費用を伺います。
- (5) 中央公民館は今後も修理・修繕等が必要になります。少しでも使用料が利用できればと思いますが、町の考えを伺います。
- (6) 今後の中央公民館の積極的な利活用についての町の考えを伺います。

# 一 般 質 問

| 議席番号  | 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 議員氏名 | 保 泉 周 平 |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------|
| 項目・要旨 | 1. 開庁時間と働き方改革について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |      |         |
|       | <p>現在の開庁時間は午前8時30分から午後5時15分で、職員の勤務時間も同じになっています。休憩時間を1時間取り、勤務時間は7時間45分となり、これには準備・整理といった時間も含まれるため、窓口業務も対応が忙しくなると、残業時間が増えるのではないのでしょうか。また、開庁前の準備、閉庁後の事務作業もあるのではないのでしょうか。民間の企業を見ても、最近では働く人の勤務時間に厳しく、働き方改革に前向きに取り組んでいると考えます。</p> <p>そこで、銀行も行っている時間の方法として、職員の勤務時間はそのままにして、開庁時間を15分遅らせ開始を午前8時45分とし、事務終了を45分早め午後4時30分にすると、準備・整理の時間ができて、残業時間の縮小が見込めると考えます。以上のことから、現状と課題を伺います。</p> <p>(1) 現状の残業時間を伺います。</p> <p>(2) 残業の要因分析はしているのか。</p> <p>(3) 開庁時間の短縮は利用者に影響を与えるのか伺います。</p> <p>(4) 開庁時間を1時間短縮することで、働き方改革につながるのか伺います。</p>                                                                     |      |         |
|       | 2. 義務教育学校について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |      |         |
|       | <p>昨年の能登半島地震で被災した石川県輪島市は、市立小学校9校を3校に再編し、中学校3校を合わせ統合して、小中一貫教育の義務教育学校とする記事がありました。</p> <p>この記事には痛ましい震災で、さらに子どもの数が減ったことも要因に挙げられています。人口減少、少子化現象は全国的であり、今後も増える期待は見込めないため、各自治体では令和7年度予算に小中学校の老朽化による改修工事等の予算編成を計画する中、埼玉県内では新座市・志木市・日高市・行田市・久喜市・幸手市が統合再編計画を盛り込んでいます。その中で小中一貫教育の義務教育学校に取り込む内容が気になりました。寄居町もすでに統合する城南中学校区もあり、今後の課題として義務教育学校の検討が重要と考えます。そこで伺います。</p> <p>(1) 義務教育学校について、寄居町の考えを伺います。</p> <p>(2) 寄居町教育委員会の中では、どこまで議論されているのか伺います。</p> <p>(3) 埼玉県教育委員会が考える小中一貫教育とはどのようなものか伺います。</p> <p>(4) 今後の小中一貫教育を考えるにあたって、重要なことは何でしょうか。伺います。</p> <p>(5) 少子化が今以上に進むとしたら、統合の手段として検討するのか伺います。</p> |      |         |

# 一 般 質 問

| 議席番号  | 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 議員氏名 | 吉 田 林 藏 |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------|
| 項目・要旨 | 1. デジタル技術を活用した防災支援について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |      |         |
|       | <p>今後の大規模災害時には、デジタル技術を駆使して被害状況の確認や物資支援の効率化・各避難所利用状況の把握、被災者支援の向上を図ることが期待されています。A I 技術やドローンで災害発生後の迅速な対応を図ることが出来る災害時の取り組み状況について町の考えを伺います。</p> <p>(1) 衛星システムやドローンを被災状況の把握に活用することを考えているのか伺います。</p> <p>(2) デジタルやA I (人工知能) を駆使して災害予測対策を進め、災害発生後の迅速な対応を図っていく。そうした防災の方向へシフトしていく必要がありますが、町の考えを伺います。</p> <p>(3) 災害による通信復旧対策として、電源車、発電機の投入は準備されているのか伺います。</p> <p>(4) 非常用連絡手段としての衛星携帯電話や簡易無線機、M C A 無線機は準備されているのか伺います。</p>                                                    |      |         |
|       | 2. プレコンセプションケアの普及、啓発推進について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |      |         |
|       | <p>厚生労働省では、令和4年度からプレコンセプションケアを含めた施策として「性と健康の相談センター事業」を開始しています。性別を問わず性、妊娠に関する正しい知識を普及させ健康管理を促すものです。小学校高学年以上を対象としたポータルサイトを利用する事で学校の授業での活用を促すことが出来ます。そしてプレコンセプションケアと学校教育の関係について町が「次世代から選ばれる町」になるための施策を進めるように、プレコンセプションに係る町の考えを伺います。</p> <p>(1) 小・中学校においてプレコンセプションケアに関する学習は、次期指導要領にどのように反映されているのか伺います。</p> <p>(2) 思春期・妊娠・出産等のライフステージに応じた切れ目のない女性の健康づくりへの支援の取り組みはどうしているのか伺います。</p> <p>(3) 性別は問わず、妊娠・出産等に関する医学的、科学的に正しい知識の普及啓発を学校教育段階から推進することが必要と思われませんが、町の考えを伺います。</p> |      |         |
|       | 3. ブックメニューの導入について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |      |         |
|       | <p>絵本にも小説にも食べ物が出てきます。子どもたちにとって親しみやすい物語に出てくる食べ物を学校給食で提供し、読書と食の両方に対する関心を高めようという実践もあります。効果として「本を手取るきっかけを生む」「食が物語の展開の大切な要素の1つになると気付く」。そのことから給食の献立に絵本やお話に登場した料理を取り入れている小・中学校が全国各地にあります。図書館・学校</p>                                                                                                                                                                                                                                                                      |      |         |

図書館と給食のコラボ「ブックメニュー」について伺います。

（１）食や図書への関心を促進するための手段としても大変有効であると思いますが、導入の考えはあるのか伺います。

（２）学校図書館に、給食に関連した図書の展示コーナーを設定するといったブックメニューを取り入れることにより、食への関心を高めることができると思いますが、町の考えを伺います。

# 一 般 質 問

| 議席番号  | 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 議員氏名 | 笠 原 則 夫 |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------|
| 項目・要旨 | 1. 男衾小学校の長寿命化について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |      |         |
|       | <p>当初の男衾小中学校は、施設一体型の校舎を建設することで数年間費やされました。その影響もあり、「中学校の長寿命化後は小学校の番ですか」と、複数の方から時々話を聞きます。発言者の言葉にも一理あると思います。そこで伺います。</p> <p>(1) 今後の男衾小学校の長寿命化の予定について伺います。</p> <p>(2) 長寿命化が未定の場合、部分修繕の計画があるのか伺います。</p> <p>(3) 修繕について、男衾小学校からは何らかの苦情が来ているのか伺います。</p>                                                                                                                                                                       |      |         |
|       | 2. 続・寄居町総合体育館・アタゴ記念館にエアコンを設置することについて                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |      |         |
|       | <p>このことについては、昨年の9月定例会で質問し、「現在、体育館の維持管理に関する調査を委託しており、その結果に基づき検討してまいります」との答弁をいただきました。そこで伺います。</p> <p>(1) 再質問の答弁で「現在の委託については12月末頃をめどに確認ができると予定している」とありましたが、その結果について伺います。</p> <p>(2) 公共施設の維持管理には、毎年莫大な費用がかかることは理解しています。しかし、防災の要として位置づけられている総合体育館に、エアコンを設置することは優先順位の高い事業だと考えます。町の考えを伺います。</p> <p>(3) エアコンを設置した場合の維持管理費の捻出について伺います。</p> <p>(4) 体育館内外には広告を設置できる場所が多くあります。現在は補助金と税金以外の収入を考えて、自治体運営する時代だと思いますが、町の考えを伺います。</p> |      |         |
|       | 3. 中学生海外相互交流派遣事業の見直しについて                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |      |         |
|       | <p>この事業について、私もスポーツ国際交流を長く続けてきたので、とても興味深くいつも注視しています。予算審議でも時々質問しており、そこで伺います。</p> <p>(1) この事業の趣旨である「国際化社会に対応する人材を育成すること」に、相応しい成長を遂げた方がいたのか伺います。</p> <p>(2) この事業について、私は生徒の未来への投資ととらえていますが町の見解を伺います。</p> <p>(3) 自治体が行っている海外派遣事業で全額負担のところもあります。私は3分の1から半額くらいは個人負担をしていただいたほうが良いと思いますが、町の見解を伺います。</p> <p>(4) 今後は中学生ではなく、役場に入庁後、10年を迎えた職員の、リフレッシュを含めた研修として海外派遣事業を行うのが望ましいと思いますが、町の見解を伺います。</p>                                |      |         |



# 一 般 質 問

| 議席番号  | 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 議員氏名 | 権 田 孝 史 |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------|
| 項目・要旨 | 1. 移住・定住について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |      |         |
|       | <p>昨年の6月定例会の総務経済常任委員会で閉会中の特定事件として「移住・定住」の調査研究を行って町に要望しました。ちょうどいい田舎町で子育て」を掲げ、「まちの魅力を高める情報発信の推進・魅力的で選ばれる町の実現に積極的に・持続可能なまちづくりへ」と要望しましたが、どのような目標を立て事業推進を行ってきたのか現在までの経過と状況を伺います。</p> <p>(1) どのような目標を掲げたのか伺います。</p> <p>(2) 魅力を高める情報発信の推進は新たに発信できたのか伺います。</p> <p>(3) 選ばれる町の実現に積極的な取組みをどの様に進めているのか伺います。</p> <p>(4) 持続可能対策をどの様に考えているのか伺います。</p>                 |      |         |
|       | 2. 町民マラソン大会のフォローについて                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |      |         |
|       | <p>令和5年12月定例会で、町民から要望のあった町民マラソン大会について質問をさせていただきました。</p> <p>その時の回答では、「運営方法や安全の確保が充分に必要となります。警察署、その他関係機関との調整等、また、実施体制になると多くのスタッフが必要ですので関係機関との意見を伺いながら調査研究をしてまいりたいと思っております。」そして、最後には「調査につきましては、どのような状況になるか今のところ分かりませんが、そういう中でまとまりましたらご報告はしていきたいと思っております。」と回答をいただきました。</p> <p>そこで伺います。</p> <p>(1) 期限を決め調査研究してるのか伺います。</p> <p>(2) 調査報告をどの様に行う考えなのか伺います。</p> |      |         |
|       | 3. 男衾小学校施設について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |      |         |
|       | <p>学校行事で時々学校を訪問いたします。男衾中学校の大規模改修工事も終わり、大変明るく綺麗になりました。隣接する男衾小学校と男衾中学校を夢へのスマイルロードで結び、施設一体型でありながら小学校施設は多くの不具合を感じます。</p> <p>その中でも今回2点、各教室の窓の開閉不具合と体育館の問題等をどのように考えているのか伺います。</p> <p>(1) 各教室の窓の開閉状態の不具合を把握しているのか伺います。</p> <p>(2) 体育館の諸問題について伺います。</p> <p>①ステージ照明について（挨拶される方が暗くて見づらい）</p> <p>②ペンキ塗り替えについて（天井の古いペンキ剥がれが床に落ちている）</p> <p>③ガラス割れの交換について</p>       |      |         |

|  |                                                                                                                                                                                                                                                             |
|--|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | ④ステージ下収納庫の動物の糞害について（侵入口の対策を）                                                                                                                                                                                                                                |
|  | 4. 正喜橋通りの街灯について                                                                                                                                                                                                                                             |
|  | <p>寄居駅南口中央通り線が整備され大変綺麗になりました。しかし、町民の方から「夜の8時過ぎに正喜橋から寄居駅まで歩いて下さいよ」と言われました。なぜ、と聞くと「やはり議員さんも知らないんだ」と言われ、実際に歩いてみると、正喜橋から寄居駅入り口の信号までの間に街灯が1つしかなく大変暗いと感じました。正喜橋通りは電柱が地中化されると聞いておりますが、街灯設置について伺います。</p> <p>（1）地域住民から街灯の設置要望がないのか伺います。</p> <p>（2）今後の計画について伺います。</p> |

# 一 般 質 問

| 議席番号  | 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 議員氏名 | 里 見 夕 子 |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------|
| 項目・要旨 | 1. 女性が安心して搾乳ができる環境づくりについて                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |      |         |
|       | <p>現在、多くの人が利用する施設には、赤ちゃんにミルクをあげることなどができる「授乳室」の設置が進んでいますが、授乳室で「搾乳」もできることについては、まだ一般の理解が進んでいません。</p> <p>小さく生まれた赤ちゃん、リトルベビーにとって母乳は成長に欠かせない重要な栄養源です。赤ちゃんより先に退院した母親は母乳を絞って病院に届けていますが、外出先で胸が張り授乳室で搾乳する場合があります。しかし、その際 赤ちゃんを連れていないことから、その場にいる別の方から不審に思われたり、目的外利用をしているかのような心無い言葉を投げつけられる事もあります。さらに、不衛生なトイレで搾乳するケースも少なくありません。</p> <p>また、産後に職場復帰する女性にとっても、職場で安心して搾乳できる場所の確保や、周囲の理解などが課題となっています。赤ちゃんに授乳しない場合でも、母体では母乳が作られるため、母乳がたまった状態を放置すると痛みや高熱が出たり、乳腺炎・2型糖尿病や高脂血症などを発症する恐れもあります。そのため数時間毎に搾乳をする必要があります。しかし、職場に女性用の休憩室等がなかったり、周囲に搾乳に関する知識や理解がないため、「トイレで便器に向かって搾乳し母乳を捨てたことがある」といった話も伺いました。こうした状況に対応するため、神奈川県ではNPO法人 p e n a と連携し、授乳室で搾乳ができることを示すシンボルマークを作成し、商業施設等での掲示を進めています。そこで伺います。</p> <p>(1) 当町における、赤ちゃんの駅や授乳室が整備されている数を伺います。</p> <p>(2) 県内においても上尾市が上尾市役所内の授乳室に「搾乳可能」と掲示していますが、当町においてもこうしたシンボルマークなどを作成し搾乳への理解を広げていくべきと考えますが、町の見解を伺います。</p> |      |         |
|       | 2. 災害時の備蓄食の栄養バランスについて                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |      |         |
|       | <p>日本各地で頻発する自然災害は、私たちに防災意識の重要性を改めて認識させました。</p> <p>今、災害が発生したら私たちの生活は一変します。電気・水道が止まりスーパーやコンビニにも行けない、そんな状況の中で まず必要となるのは「食ること」です。避難生活における「食」は単なる生命維持の手段ではなく健康を維持し生活の質を保つうえで欠かせない要素です。</p> <p>しかし実際、避難所では食料が届くまでに時間がかかる事があり、届いたとしても食物アレルギーがある人・高齢で固い物が食べれない人・赤ちゃんや持病のある人にとって、食べられるものは限られていることもあります。疲れ切った体に負担がかからず栄養バランスの取れた食事をどう確保するのか―これは決して後回しに出来な</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |      |         |

|  |                                                                                                                                                |
|--|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | <p>い課題です。そこで伺います。</p> <p>(1) 当町にストックされている備蓄食の現状を伺います。</p> <p>(2) 災害要支援者とされている方々への配慮はどのように考えているか伺います。</p> <p>(3) 町民への適切な周知・啓発活動の課題と現状を伺います。</p> |
|--|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

# 一 般 質 問

| 議席番号  | 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 議員氏名 | 浅 見 玲 子 |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------|
| 項目・要旨 | 1. 鉢形駅のバリアフリー化について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |      |         |
|       | <p>国土交通省の「バリアフリー法に基づく基本方針における２０２１年度以降のバリアフリー整備目標について」の中に「各施設等の２０２５年度末に向けた次期目標について」①として、「鉄軌道駅の段差の解消」があります。</p> <p>エレベーターの設置は、原則一日の利用者が３０００人以上ですが、「その他、地域の実情にかんがみ、利用者数のみならず利用実態を踏まえて可能な限りバリアフリー化」という記述があります。そこで伺います。</p> <p>(１) 誰もが安心して外出できる条件を整えることについて町の考えを伺います。</p> <p>(２) 東上線東松山・寄居間利便性向上推進協議会（旧複線化期成同盟会）が毎年１回開催されていますが、鉢形駅のエレベーター設置について協議会へ要望をしているのか伺います。</p> <p>(３) 平成３０年に地区住民の総意として署名を集め請願を提出しました。議会が全員賛成で採択したことについて、町としての所見を伺います。</p> |      |         |
|       | 2. 健康長寿事業の積極的展開について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |      |         |
|       | <p>重点施策の「健康長寿事業」について伺います。</p> <p>ポスターで健康寿命が県内最下位をアピールしています。これを挽回すべく政策があつての自信の表れであると受け止めています。そこで伺います。</p> <p>(１) 女性の健康寿命最下位になる原因をどのように分析しているのか伺います。</p> <p>(２) 最下位脱出の決め手はあるのか伺います。</p>                                                                                                                                                                                                                                                       |      |         |
|       | 3. 補聴器の購入助成について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |      |         |
|       | <p>補聴器の購入助成制度について、数回にわたり一般質問をしています。答弁は「先例自治体の実情把握や情報収集を行っていく」との回答です。２年前に質問をした時と同じです。そこで伺います。</p> <p>(１) まず実情把握と情報収集した結果と見解を伺います。</p> <p>(２) 埼玉県内では、令和７年度から助成制度を導入した２町を含め、現在までに１０市１０町が補聴器購入に助成金をつけています。本町が助成金制度を設けない理由を伺います。</p>                                                                                                                                                                                                             |      |         |
|       | 4. 公民館のトイレの改修について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |      |         |
|       | <p>寄居町は運動・文化活動が盛んです。中央公民館だけでも４８団体登録されており、その他にも地域公民館で活動している団体がたくさんあります。</p> <p>高齢者の方たちの公民館利用率が高いのですが、ほとんどの公民館は、トイレが和式のみで、利用しにくい状況になっています。利用者からは「トイレをなんとかしてほしい」という声が寄せられています。そこで伺います。</p> <p>(１) 公共施設管理計画の中で、地域公民館のトイレの改修はどのような位置づけになっているのか伺います。</p>                                                                                                                                                                                          |      |         |

- |  |                                                                                                                                                                                      |
|--|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | <p>(2) 中央公民館のトイレは、和式便器を洋式に変えただけなので、壁とのすきまがなく、体格のいい方には使えません。洋式トイレにも使いやすくする改修が必要ですが、改修の順番等計画があるのか伺います。</p> <p>(3) バリアフリー法が施行され、最近の基準ではオストメイトを設置することが望ましいとなっているかと思いますが、計画はあるのか伺います。</p> |
|--|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

# 一 般 質 問

| 議席番号  | 1 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 議員氏名 | 鈴 木 詠 子 |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------|
| 項目・要旨 | 1. 自治会活動の支援について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |      |         |
|       | <p>今日の地域コミュニティの基礎となる自治会は、安心安全で快適に暮らせる地域づくりの重要な役割を担っており、当町においても、多様な分野の課題解決に取り組み、人と人との絆づくりに大きく貢献をいただいています。しかし、現状は、自治会役員のなり手不足、自治会加入率の減少、中心となる方々の高齢化など、様々な課題を抱えながらの活動となっており、今後の地域コミュニティの維持については、多くの町民から不安の声が上がっています。当町における今後の自治会のあり方や支援について町の考えを伺います。</p> <p>(1) 自治会への加入率について</p> <p>①当町の行政区別自治会加入率と課題について</p> <p>②加入促進のための啓発について</p> <p>(2) 町から区長へ委託している内容について</p> <p>(3) 自治会への補助制度について</p> <p>①補助制度の内容について</p> <p>②補助制度の利用率について</p> <p>(4) 地域防災の要としての役割について</p> <p>①防災訓練の情報共有について</p> <p>②地区の公会堂を地域の防災拠点（避難所等）にすることの支援について</p> <p>(5) 多世代に通じるための柔軟で多様な連携を可能にする自治体活動のデジタル化について</p> <p>①業務短縮、情報共有のための自治会ホームページ開設の実施について</p> <p>②紙と併用した電子回覧板の実施について</p> |      |         |
|       | 2. ひとり親家庭への支援について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |      |         |
|       | <p>現在、ひとり親家庭への様々な支援も増えていますが、国民生活基礎調査の資料によると、子どもの貧困率は11.5%で、9人に1人が貧困状態にあるとされています。特にひとり親世帯の相対的貧困率は44.5%と高く、2人に1人が貧困に直面しています。母子家庭は非正規の就業の割合が高く、平均年間就労収入は、父子家庭に比べると母子家庭の収入は半分ほど少ない状況ということもあり、ひとり親家庭への離婚前後からのあらゆる支援が必要です。そこで町の考えを伺います。</p> <p>(1) 当町の離婚による「ひとり親家庭」の現状について</p> <p>(2) ひとり親世帯の中でも母子家庭世帯が経済的に自立し、その児童が健やかに成長するためには養育費の確保は重要です。養育費の取り決めについて具体的に記載した書面となる公正証書等の作成にかかる費用や養育費の立替支援等「養育費確保」に関する事業の実施について</p>                                                                                                                                                                                                                                     |      |         |

|  |                                                       |
|--|-------------------------------------------------------|
|  | (3) シングルマザーなど困難下で頑張る女性たちに化粧品を届ける「コスメバンクプロジェクト」の実施について |
|--|-------------------------------------------------------|



# 一 般 質 問

| 議席番号  | 1 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 議員氏名 | 稲 山 良 文 |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------|
| 項目・要旨 | 1. 郷土芸能（無形文化財）保全育成について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |      |         |
|       | <p>各地域に町指定の郷土芸能が存在しています。西部地区では金尾の白髪神社の獅子舞、市街地地区では茅町の神田ばやし、桜沢地区には本村の祇園行事、用土地区には諏訪神社の獅子舞、折原上郷地区には佐太彦神社の太々神楽等の町の無形文化財として活動しています。どこの保存団体も高齢化による団員数の減少、後継者不足に悩んでいるのが実情です。町もこのことに真剣に取り組まなければ、郷土芸能がさらに衰退してしまいます。各団体も取り組んでいますが、次のことについて町の考えを伺います。</p> <p>(1) 郷土芸能を発表する機会が少なく、練習し技能を切磋琢磨する機会が少ないことが衰退する要因の一つと考えられます。発表する機会をつくっていただきたいと思いますが、町の考えを伺います。</p> <p>(2) 多くの町民の方に郷土芸能（無形文化財）を知ってもらうため、合併70周年事業の一環として郷土芸能を披露する機会を開催するべきと考えますが、町の考えを伺います。</p> <p>(3) 必要な備品類の修復、修理等の費用の一部助成をするべきと考えますが、町の考えを伺います。</p> <p>(4) 保存団体の運営には諸費用が掛かります。助成金の増額について伺います。</p> <p>(5) 保存団体が発表会を開催する際、町の支援についてどのように考えているのか伺います。(会場使用料の免除等)</p> |      |         |
|       | 2. 城南中学校長寿命化、新校舎建設の基本設計について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |      |         |
|       | <p>義務教育学校を導入する前提において城南中学校校舎の長寿命化、新校舎建設の基本設計の見直しについて町の考え方を伺います。</p> <p>文教厚生常任委員会では、閉会中の特定事件として小中一貫教育について（義務教育学校、小中一貫型小学校・中学校）について、先進地を視察し調査研究をしてきました。そして教育環境、内容の素晴らしさを実感しました。</p> <p>義務教育学校の導入についての背景は、児童生徒数の減少に伴い小中学校の統廃合があり、これを機会に首長、教育長の強いリーダーシップの下、研究・調査・検討を重ねて、その結果として義務教育学校の教育制度の導入に踏み切ったと説明を受けました。</p> <p>また、小中一貫教育を実施してきたが、十分な教育の効果を発揮するのは義務教育学校だと判断したとも述べられました。</p> <p>当町においても小中学校一貫教育が実施され8年目に入りました。教育の成果も十分とは言えないまでも効果は上がっているようにも感じますが、教育制度（小中学校一貫教育）を検証し、効果、課題や問題点を解決していくべき事は私が申すま</p>                                                                                                               |      |         |

でもなく、教育機関、関係者で十分実施しているものと感じています。しかし、その内容が議会にも報告されていないように感じています。小学校の統廃合により新校舎建設の機会に、また近い将来さらに児童生徒数が減少し、数年後には義務教育学校に移行する可能性もあると教育委員会も述べられていました。城南中学校長寿命化、新小学校の建設の基本設計が議員全員協議会において示されましたが次の項目について伺います。

(1) 義務教育学校について調査研究をしたのか、その内容について伺います。

(2) 将来を見据えた義務教育学校の導入を検討し、設計を修正すべきと考えますが町の考えを伺います。

(3) 将来、義務教育学校を導入したときに校舎の改修工事をしなくてはならない状況が起きた場合には、工事ロスが考えられますが十分に精査したのか伺います。

(4) 教育制度によって建設物の基本設計が決まると考えられます。地域住民、保護者と丁寧に協議し理解を得、さらに3月議会の令和7年度予算に関する付帯決議を考慮し推進すべきと考えますが町の考えを伺います。

(5) 小中学校一貫教育は義務教育学校そのものですが、基本的に違うのは、教員組織が一体化されていないため、児童生徒の情報、家庭環境その他に関する情報が共有されていないためきめ細かさにかける。9年生とし前期過程(1、2、3、4年生)中期過程(5、6、7年生)後期課程(8、9年生)として確立されていない。学校名が違うなどありますがこれらを考慮すれば、この機会を捉えて、教育環境を考え義務教育学校の導入を検討すべきと考えますので町の考えを伺います。

# 一 般 質 問

| 議席番号  | 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 議員氏名 | 久 保 鷹 矢 |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------|
| 項目・要旨 | 1. 「明るく、楽しく、チャレンジできる寄居町」のビジョンを掘り下げることについて                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |      |         |
|       | <p>3月議会では、「10年後の寄居町はどうなっているのか」、「どのように変えていくのか」という観点から質問を行いました。今回はその答弁を踏まえ、町政のビジョンをさらに深掘りし、見える化していくために、以下の質問をいたします。</p> <p>(1) 自治体間競争だけでなく、日本全体の成長が重要との答弁がありました。しかし、仮に今後、日本全体の成長が停滞あるいは衰退していく場合、寄居町はどのような未来を想定しているのか、考えを伺います。</p> <p>(2) 日本の成長が鍵であるとのこと認識でしたが、その要素には大きな不確実性が伴います。これからの行政運営には、能動的かつ具体的な問題解決アプローチこそが最重要と考えます。そこにこそ競争が生まれ、サービス向上につながるはずだと考えます。寄居町として独自性を打ち出しつつ、自治体間競争を促進する、あるいは自治体ごとの役割分担を強化する必要性について、見解を伺います。</p> <p>(3) 「強さ」「豊かさ」の上に「楽しさ」を加えた寄居町を目指すとのことでした。この目標に向け、どのような具体的な指標を設定し、どのような変化を可視化していく想定なのか、伺います。</p> <p>(4) 「個々の強さ」や「自立」が重要とのことでしたが、それを政策として実現するにあたり、特にどの分野への重点投資が最も重要であると考えているか伺います。</p> <p>(5) 役場組織としても「チャレンジ」が可能な体制を目指すとの認識です。一方で、離職者の多さや人材不足、行政サービスの多様化によって、挑戦したくても難しい状況が強まっている懸念があります。</p> <p>そこで、町がこれまでに最もチャレンジしてきたと自負される取り組みと、その成果の自己評価、さらに今後どのようなチャレンジをしていくのか、展望を伺います。</p> <p>(6) 「明るく、楽しく、チャレンジできる寄居町」というビジョンは、現在の寄居町民にとって最も必要とされているものであるとお考えか、町民ニーズとの整合性を含めて伺います。</p> |      |         |
|       | 2. 重点項目の一つ、地域内経済循環の促進について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |      |         |
|       | <p>(1) 地域の「稼ぐ力」を高める施策・方針について</p> <p>① 「稼ぐ力」の向上には、町が得意とする分野への特化が重要とされています。寄居町として、どの産業分野を「強み」と捉え、それをどのように施策に展開しているのか、町の認識を伺います。</p> <p>② 寄居町には「彩の国資源循環工場」が立地し、県の方針と合致する形で、サ</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |      |         |

ーキュラーエコノミー関連の分野において先進的な官民連携が実現可能なポテンシャルがあると考えます。この分野における今後の「伸びしろ」についての見解を伺います。

- ③地域外からの所得を確保するためには、行政として「ふるさと納税制度」の活用が不可欠と考えます。寄居町として、ふるさと納税制度と地域内経済循環とをどのように関連づけてきたのか、また今後の方針について伺います。

(2) 配分・支出について

- ①地域経済循環の悪循環パターンとして、企業誘致などにより高生産性を実現しても、地域住民への分配が適切に行われず、中心市街地が衰退することで、地域内消費が回らなくなるという課題が挙げられます。

今後、寄居町でも同様のリスクが生じる可能性があるかと危惧していますが、これについての対応策・方針を伺います。

- ②地域通貨に関して、過去の答弁では利用金額の多くが本社を町外に持つスーパーに集中しているとのことでした。しかし、地域内経済循環の観点からは、地元商店や本社のある地域企業に消費が循環する制度設計が重要だと考えます。この観点からの町の考えを改めて伺います。

- ③地域内経済循環の発想は今後も必要と考えますが、人口減少により地域全体の需要・消費量が縮小し、さらにIT化が進む中でサービス需要の構造自体も大きく変わりつつあります。町として、今後の経済循環や経済環境の変化についてどのように予測し、それに対してどう対応していこうと考えているのか伺います。

3. 持続可能な社会のために、外国人転入者と地域の関わりをサポートする必要性について

令和6年3月議会にて、同僚議員より本件についての質問がありました。私自身も地域の方々と対話を重ねる中で、自治会との関わりや、移住後の生活支援に多くの課題が残されていると感じました。今後の町の方針と、「どうあるべきか」について、以下の質問を行います。

- (1)外国人移住者に対して、行政および自治会は、それぞれどの程度の支援が必要だと捉えているのか。また、それぞれの役割分担についての見解を伺います。

- (2) 今後、多国籍な町民への対応がさらに求められる中で、チャットボット等のDX化の必要性が高まっていると考えます。町として、この分野における必要性や、現時点での課題認識について考えを伺います。

4. 学校行事での運営について

近年、卒業式や入学式における来賓紹介・挨拶や保護者代表の謝辞が、形式的・負担的との声が広がっています。

実際に謝辞を巡って保護者間で役割を押し付け合う事例や、長時間の来賓挨拶への不満も話題となっています。学校行事の本質的な目的に立ち返り、参加者全員に

# 一 般 質 問

| 議席番号  | 1 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 議員氏名 | 原 口 孝 |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------|
| 項目・要旨 | <p>1. 寄居駅南口駅前拠点施設（Y o t t e c o）の活用について</p> <p>現在、「Y o t t e c o」は指定管理により、町の財政負担が大きい状態が続いています。今後は国の補助金の使用目的や公の施設としての趣旨を維持しつつ、民間事業者による活用と連携した委託業務への転換を検討すべきであります。公募により事業者を選定し、下記①～⑫の町の重点施策を委託業務として委託すれば、財政負担を抑えながら、民間の創意を活かした運営が可能になると考えます。また、補助金制約についても、関係機関と協議し、目的の整合性を丁寧に確認しながら進めれば実現可能と考えます。</p> <p>＊民間との賃貸契約での委託業務の一例として、</p> <p>①空き家対策の情報や相談窓口開設。（提言や政策説明、実行計画など）</p> <p>②移住・定住や二拠点移住者への対応とリフォームなどの説明や紹介。</p> <p>③行政との連携、イベント開催等、周知活動。</p> <p>④寄居町の紹介業務（観光・飲食・宿泊施設・まつり・伝統・文化）</p> <p>⑤子ども食堂や居場所づくりに協力。</p> <p>⑥直売所やテクノロジーの発信。</p> <p>⑦軽食カフェの設置。</p> <p>⑧伝統・文化の継承事業（美術展の開催や紹介と展示即売会など）</p> <p>⑨若者との交流や婚活事業。</p> <p>⑩町民と寄居町との連携による町づくりの拠点。</p> <p>⑪建物の適切な管理。（借主の自己負担による修理・改修。ただし、町への届出と協議が必要）</p> <p>⑫町との定期的な協議・報告。事業成果（相談件数やイベント回数など）を提出。</p> <p>町の助言を受ける義務。</p> <p>以上をもって下記の質問に入ります。</p> <p>（１）指定管理制度の費用対効果と代替手法の検討について、指定管理解除による管理費用削減と更なる効率・活性化を図るため、管理条件を設け民間への公募方式での賃貸契約を実行すべきであると考えます。町の見解を伺います。</p> <p>（２）国の補助金の制約と施設活用の柔軟性について、民間事業者への賃貸や委託業務を行うことに、法的・制度的な制約はあるのか、町として国の補助金交付要綱や関係所管との協議を踏まえた柔軟な活用の可能性について検討しているのか伺います。</p> <p>（３）①～⑫のような、地域課題解決型の本当の意味で官民連携モデルへの転換について、どのように考えているのか、伺います。</p> |      |       |

## 2. 町有財産処分に関する条例制定について

- (1) 町有財産の売却価格については、鑑定評価額を重視するあまり、実勢価格や市場の需要に応じた柔軟な町有地売却が進みにくい現状について、町はどのように認識しているのか伺います。
- (2) 町有地売却において、鑑定評価に加え、入札結果や周辺取引価格など実勢価格を適切に反映できる運用や仕組みを導入する考えはあるのか伺います。
- (3) 町有地の売却に関して、処分基準や価格決定過程を透明にし、議会の関与を制度的に担保する条例を制定する考えはあるのか伺います。

## 3. 町有地管理（大字寄居685番地付近）について

- (1) 町有地は公有財産であり、町が適正に管理・活用すべきものです。地方自治法238条の4により、町有地財産の管理責任があります。適正に管理していないことは、職務怠慢や損害賠償責任に発展する可能性があります。  
町の見解を伺います。
- (2) 町有地の無断使用による使用料の不徴収は、町の財産に損害を与えていると考えられます。住民監査請求や住民訴訟の対象になる可能性も含みますが、町の公平な行政運営への信頼が損なわれるとも考えられます。是正命令と明け渡し請求や再発防止策としての台帳管理、巡回強化の考えについて伺います。

## 4. 子育て支援施策「小1の壁」解消について

町内の保育所（園）では、早朝保育が実施され、共働き家庭の子育てを支える大きな柱となっています。しかし小学校に上がると、そのサービスは無くなり、「小1の壁」として多くの保護者から不安や不満の声を聞きます。また、女性の就労継続を困難にし、父親の育児参画機会を制限するなど、男女共同参画社会の実現にも逆行する問題と認識すべきです。

現在、町において午前7時から午前8時までの早朝保育の利用者が合計164名、全体の32.2%となっております。

そこで下記の質問をいたします。

- (1) 町として「小1の壁」として、早朝預かりのニーズをどの程度、把握しているのか、伺います。
- (2) 他の自治体の事例研究や早朝預かりの柔軟な対応を含めた具体的な検討（実験的）を始める考えはあるのか、教育委員会も大きく関係してきますが、この課題について連携しているのか、伺います。
- (3) 「子育てに優しい町」、「働く親を支える町」として町の姿勢が問われます。定住促進や男女平等な社会参画にも繋がります。町と教育委員会と連携が重要と考えますが見解を伺います。

# 一 般 質 問

| 議席番号  | 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 議員氏名 | 大 澤 博 |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------|
| 項目・要旨 | 1. リチウム蓄電池等について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |      |       |
|       | <p>廃棄物処理施設や収集運搬車両等において、リチウム蓄電池及びリチウム蓄電池を使用した製品を起因とする火災事故等が頻繁に発生しています。令和5年度には、全国の市町村において8543件発生しており深刻な問題となっています。火災事故等が発生した場合、廃棄物処理施設や収集運搬車両への被害に加え、作業員に対して危害が及ぶ危険性があります。また、廃棄物処理施設が火災事故等で稼働停止し、廃棄物処理が滞る場合には、地域の生活環境保全上の支障をきたし大きな影響を及ぼすことになります。</p> <p>令和7年4月15日付け、環循適発第2504151号が環境省環境再生・資源循環局より各都道府県に通知され、各市町村においてリチウム蓄電池等の分別回収及び適正処理をさらに徹底していく必要があることから、リチウム蓄電池等の適正処理に関する方針と対策がまとめられています。県においても必要な対策を実施し、市町村に対し周知徹底をお願いしたいとあります。そこで伺います。</p> <p>(1) 過去、リチウム蓄電池等が起因した、廃棄物処理施設や収集運搬車両火災事故はあるのか伺います。</p> <p>(2) 有害ごみ回収が年2回行われる乾電池の回収では、「小型充電式電池は収集出来ません」とあります。この回収時に、回収するための規則を作りリチウム蓄電池等の回収が出来ないか伺います。</p> <p>(3) 不燃ごみとして小型家電が収集されています。乾電池は外して有害ごみへとあります。ワイヤレス仕様の小型家電が増えていて電池が取り外せない物があります。その対応について伺います。</p> <p>(4) 上記通達にて、全市町村において、区域内で発生するリチウム蓄電池等が一般廃棄物となった処理について廃棄物処理法等により、家庭から排出される全てのリチウム蓄電池等の処理体制を構築していく必要があると示されています。どのような回収方法を考えているのか伺います。</p> |      |       |
|       | 2. スプレー缶について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |      |       |
|       | <p>スプレー缶を安全に収集・処理を行うためケガや火災防止として「中身を空にして穴を開ける」とごみの分別と出し方にありますが、高齢者の世帯では、穴を開けるのが大変との声を聞きます。スプレー缶の収集について伺います。</p> <p>(1) 地区によっては不燃ごみ収集場所で、地区役員と班長が当番で、ごみの分別と出し方について協力しています。高齢者に対しスプレー缶の穴開け等を行っています。各地区の不燃ごみ収集場所ではどのように行われているのか伺います。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |      |       |

|  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|--|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | <p>(2) スプレー缶のみを収集し、処理事業者で中身を空にして、穴を開けて処理することが出来ないか伺います。</p>                                                                                                                                                                                                                                           |
|  | <p>3. 道路の冠水について</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|  | <p>国道140号北側のすき家140号寄居店から寄居警察署前までの間が大雨時に冠水しています。冠水の深さは分かりませんが車で走行中に追突防止センサーが誤作動を起こします。追突防止センサーが全点灯(4ヶ所)した事例があります。近年は異常気象で大雨が頻繁にあります。町民生活の安全・安心のために伺います。</p> <p>(1) 国道140号の道路管理はどこが行っているのか伺います。</p> <p>(2) すき家140号寄居店から寄居警察署前までの排水経路はどのようなになっているのか伺います。</p> <p>(3) 町から国道140号の道路管理先に改善を申入れできるのか伺います。</p> |